

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
社会学	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	松井 志菜子
授 業 概 要					
<p>社会学は、社会を生きとし生けるもの（人間、動植物、地球上に生きる全ての生物）が、平和的に共存していくことを目指す学問である。まず社会問題に関心を持つことから始まる。なぜ、そのようなことが起きているのか、原因や理由を客観的に探り、統計をとり、分析することにより、より良い解決策を考える学問である。そのため対象は多岐にわたり、様々な学問、研究分野にまたがるものである。人間社会、自然との関係、歴史・慣習・価値観・物の考え方の違い、異文化社会への共感、政治的・外交的・経済的な交渉など国境を越えた課題、国際的な協調、協力も必要になる。多角的な視点から皆で議論、討論をしていく。</p>					
到 達 目 標					
<p>社会には多様な人々がいる。現代社会は、人々が自由に移動し、物質も、資金の流れ、情報も国境を越えている。戦争や紛争により生命（いのち）を失うもの、難民、飢餓、亡命、異なる民族や人種間の差別、貧困、性差による偏見、ICT技術の発展による情報社会の新たな戦争や個人間の摩擦、働き方の変革、少子高齢化社会の課題、地域社会の課題などがある。時代と共に次々と迫る課題に対して、社会人として、課題解決への思考方法、発信力、コミュニケーション力、実行力を具体的事例で学習する。将来、海外のボランティア活動（医療活動・保健衛生教育普及活動・発展途上国の母子・乳幼児の健康や栄養アドバイザーなど）に参加希望の学生の挑戦も促す。課題や仮説を設定し、調査で検証する力、解決策を導く力を養う。</p>					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	社会学とは				松井 志菜子
2	社会政策・社会福祉政策				
3	社会問題				
4	人口問題・少子高齢化社会				
5	家族と地域社会（生活環境・人間関係・コミュニティ政策）				
6	働き方改革・労働環境・介護労働				
7	外国人（外国人定住者・技能実習生・帰化・難民・移民・不法滞在など）				
8	ジェンダー（性差別・LGBTQ）				
9	健康長寿社会（生きがい）				
10	地域政策・都市政策				
11	食糧問題、環境問題（温暖化・大気汚染・海洋河川汚染）、資源問題（水・エネルギー）				
12	看取り（尊厳死・安楽死・パンデミック禍）				
13	生きる権利（臓器移植・国際的な養子縁組・代理出産）				
14	国際社会の理解（開発と教育・医療情報、医療資源の南北問題）				
15	医療技術の発展と科学の目指すところ、海外ボランティア				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回出席すること。</li> <li>・ 理不尽だと思うこと、疑問をそのままにせず、調べ、解決法を考えること。</li> <li>・ 社会の問題に関心を持ち、自分の考えを持つこと。</li> </ul>					
評 価 方 法					
レポート（50%）、出席（15%）、授業態度・授業への積極的参加度（35%）					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔参考書〕 適宜紹介する					